

認 定 書

国 住 指 第 3 0 3 1 号
平成 26 年 12 月 12 日

一般社団法人日本壁装協会
代表理事 日比 祐市 様

国土交通大臣 太田 昭宏



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 1 条第五号及び第 108 条の 2 第一号から第三号まで（準不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
QM-0822
2. 認定をした構造方法等の名称
塩化ビニル系樹脂壁紙張／基材（準不燃材料）
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 材料名

塩化ビニル系樹脂壁紙張/基材(準不燃材料)

2. 形状及び寸法等

項 目	仕 様
形 状	平板
表 面 形 状	(1)～(3)のうち、いずれか一仕様又は組合せとする (1)平滑 (2)粗面 (3)エンボス
表面化粧材の厚さ(mm)	3.0 \pm 0.3以下
表面化粧材の質量(g/m ²)	495.0 \pm 49.5以下

3. 材料構成

項 目	仕 様														
表 面 化 粧 材	<p>塩化ビニル系樹脂壁紙</p> <p>…厚さ3.0\pm0.3mm以下</p> <p>質量495.0\pm49.5g/m²以下(有機質量190.0\pm19.0g/m²以下)</p> <p>構成:</p> <p>[1]化粧: (1)～(3)のうち、いずれか一仕様又は(1)と(2)の組合せとする</p> <p>…質量25.0\pm2.5 g/m²(固形量)以下(有機質量5.0\pm0.5g/m²以下)</p> <p>(1)合成樹脂: 質量15.0\pm1.5g/m²(固形量)以下(有機質量5.0\pm0.5g/m²以下)</p> <p>構成(g/m²)</p> <table border="0"> <tr> <td>合成樹脂^{※1}</td><td>5.0\pm0.5以下</td></tr> <tr> <td colspan="2">(但し、ポリエステル系は4.0以下とする)</td></tr> <tr> <td>無機質系充てん材、無機質系顔料^{※7}</td><td>0～14.0\pm1.4</td></tr> <tr> <td>無機質系添加剤^{※2}</td><td>0～14.0\pm1.4</td></tr> </table> <p>(2)印刷インク: 質量15.0\pm1.5g/m²(固形量)以下(有機質量5.0\pm0.5g/m²以下)</p> <p>構成(g/m²)</p> <table border="0"> <tr> <td>合成樹脂インク^{※3}</td><td>5.0\pm0.5以下</td></tr> <tr> <td>無機質系充てん材、無機質系顔料^{※7}</td><td>0～14.0\pm1.4</td></tr> <tr> <td>無機質系添加剤^{※2}</td><td>0～14.0\pm1.4</td></tr> </table> <p>(3)なし</p>	合成樹脂 ^{※1}	5.0 \pm 0.5以下	(但し、ポリエステル系は4.0以下とする)		無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※7}	0～14.0 \pm 1.4	無機質系添加剤 ^{※2}	0～14.0 \pm 1.4	合成樹脂インク ^{※3}	5.0 \pm 0.5以下	無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※7}	0～14.0 \pm 1.4	無機質系添加剤 ^{※2}	0～14.0 \pm 1.4
合成樹脂 ^{※1}	5.0 \pm 0.5以下														
(但し、ポリエステル系は4.0以下とする)															
無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※7}	0～14.0 \pm 1.4														
無機質系添加剤 ^{※2}	0～14.0 \pm 1.4														
合成樹脂インク ^{※3}	5.0 \pm 0.5以下														
無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※7}	0～14.0 \pm 1.4														
無機質系添加剤 ^{※2}	0～14.0 \pm 1.4														

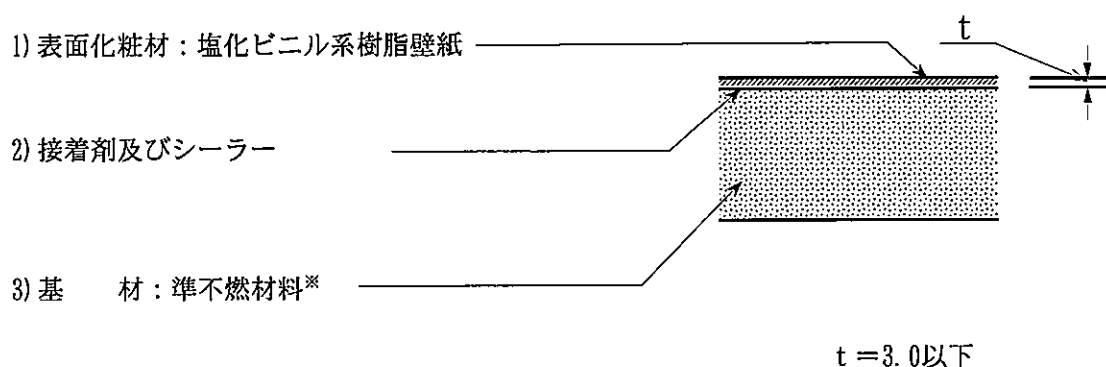
項 目	仕 様																																																
表面化粧材 (つづき)	<p>[2] 主素材：(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 塩化ビニル系樹脂</p> <p>…厚さ2.3 ± 0.23mm以下</p> <p>質量320.0 ± 32.0g/m²以下^{※4} (有機質量120.0 ± 12.0g/m²以下^{※5})</p> <p>構成 (g/m²) ^{※4}</p> <table> <tr> <td>塩化ビニル樹脂</td><td>89.6± 9.0以下</td></tr> <tr> <td>可塑剤^{※6}・減粘剤 (カルボン酸エステル系)</td><td>48.2± 4.8以下</td></tr> <tr> <td colspan="2">(但し、減粘剤は、0～8.5± 0.9の範囲とする)</td></tr> <tr> <td>無機質系充てん材、無機質系顔料^{※7}</td><td>17.9± 1.8以上</td></tr> <tr> <td>有機質系発泡剤 (アジカルボンアミド系、ポリスチレンポリブタジド)</td><td>0～4.0± 0.4</td></tr> <tr> <td>有機質系安定剤 (亜鉛系化合物)</td><td>2.8± 0.3以下</td></tr> <tr> <td>有機質系顔料^{※8}</td><td>0～2.3± 0.2</td></tr> <tr> <td>添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤)</td><td>0～1.7± 0.2</td></tr> </table> <p>(2) 塩化ビニル系樹脂</p> <p>…厚さ2.3 ± 0.23mm以下</p> <p>質量310.0 ± 31.0g/m²以下^{※4} (有機質量110.0 ± 11.0g/m²以下^{※5})</p> <p>構成 (g/m²) ^{※4}</p> <table> <tr> <td>塩化ビニル樹脂</td><td>82.1± 8.2以下</td></tr> <tr> <td>可塑剤^{※6}・減粘剤 (カルボン酸エステル系)</td><td>44.3± 4.4以下</td></tr> <tr> <td colspan="2">(但し、減粘剤は、0～7.9± 0.8の範囲とする)</td></tr> <tr> <td>無機質系充てん材、無機質系顔料^{※7}</td><td>16.4± 1.6以上</td></tr> <tr> <td>有機質系発泡剤 (アジカルボンアミド系、ポリスチレンポリブタジド)</td><td>0～3.6± 0.4</td></tr> <tr> <td>有機質系安定剤 (亜鉛系化合物)</td><td>2.5± 0.3以下</td></tr> <tr> <td>有機質系顔料^{※8}</td><td>0～2.1± 0.2</td></tr> <tr> <td>添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤)</td><td>0～1.6± 0.2</td></tr> </table> <p>(3) 塩化ビニル系樹脂</p> <p>…厚さ2.3 ± 0.23mm以下</p> <p>質量300.0 ± 30.0g/m²以下^{※4} (有機質量100.0 ± 10.0g/m²以下^{※5})</p> <p>構成 (g/m²) ^{※4}</p> <table> <tr> <td>塩化ビニル樹脂</td><td>74.6± 7.5以下</td></tr> <tr> <td>可塑剤^{※6}・減粘剤 (カルボン酸エステル系)</td><td>40.2± 4.0以下</td></tr> <tr> <td colspan="2">(但し、減粘剤は、0～7.1± 0.7の範囲とする)</td></tr> <tr> <td>無機質系充てん材、無機質系顔料^{※7}</td><td>14.9± 1.5以上</td></tr> <tr> <td>有機質系発泡剤 (アジカルボンアミド系、ポリスチレンポリブタジド)</td><td>0～3.3± 0.3</td></tr> <tr> <td>有機質系安定剤 (亜鉛系化合物)</td><td>2.3± 0.2以下</td></tr> <tr> <td>有機質系顔料^{※8}</td><td>0～1.9± 0.2</td></tr> <tr> <td>添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤)</td><td>0～1.4± 0.1</td></tr> </table>	塩化ビニル樹脂	89.6 ± 9.0 以下	可塑剤 ^{※6} ・減粘剤 (カルボン酸エステル系)	48.2 ± 4.8 以下	(但し、減粘剤は、0～8.5 ± 0.9 の範囲とする)		無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※7}	17.9 ± 1.8 以上	有機質系発泡剤 (アジカルボンアミド系、ポリスチレンポリブタジド)	0～4.0 ± 0.4	有機質系安定剤 (亜鉛系化合物)	2.8 ± 0.3 以下	有機質系顔料 ^{※8}	0～2.3 ± 0.2	添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤)	0～1.7 ± 0.2	塩化ビニル樹脂	82.1 ± 8.2 以下	可塑剤 ^{※6} ・減粘剤 (カルボン酸エステル系)	44.3 ± 4.4 以下	(但し、減粘剤は、0～7.9 ± 0.8 の範囲とする)		無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※7}	16.4 ± 1.6 以上	有機質系発泡剤 (アジカルボンアミド系、ポリスチレンポリブタジド)	0～3.6 ± 0.4	有機質系安定剤 (亜鉛系化合物)	2.5 ± 0.3 以下	有機質系顔料 ^{※8}	0～2.1 ± 0.2	添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤)	0～1.6 ± 0.2	塩化ビニル樹脂	74.6 ± 7.5 以下	可塑剤 ^{※6} ・減粘剤 (カルボン酸エステル系)	40.2 ± 4.0 以下	(但し、減粘剤は、0～7.1 ± 0.7 の範囲とする)		無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※7}	14.9 ± 1.5 以上	有機質系発泡剤 (アジカルボンアミド系、ポリスチレンポリブタジド)	0～3.3 ± 0.3	有機質系安定剤 (亜鉛系化合物)	2.3 ± 0.2 以下	有機質系顔料 ^{※8}	0～1.9 ± 0.2	添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤)	0～1.4 ± 0.1
塩化ビニル樹脂	89.6 ± 9.0 以下																																																
可塑剤 ^{※6} ・減粘剤 (カルボン酸エステル系)	48.2 ± 4.8 以下																																																
(但し、減粘剤は、0～8.5 ± 0.9 の範囲とする)																																																	
無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※7}	17.9 ± 1.8 以上																																																
有機質系発泡剤 (アジカルボンアミド系、ポリスチレンポリブタジド)	0～4.0 ± 0.4																																																
有機質系安定剤 (亜鉛系化合物)	2.8 ± 0.3 以下																																																
有機質系顔料 ^{※8}	0～2.3 ± 0.2																																																
添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤)	0～1.7 ± 0.2																																																
塩化ビニル樹脂	82.1 ± 8.2 以下																																																
可塑剤 ^{※6} ・減粘剤 (カルボン酸エステル系)	44.3 ± 4.4 以下																																																
(但し、減粘剤は、0～7.9 ± 0.8 の範囲とする)																																																	
無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※7}	16.4 ± 1.6 以上																																																
有機質系発泡剤 (アジカルボンアミド系、ポリスチレンポリブタジド)	0～3.6 ± 0.4																																																
有機質系安定剤 (亜鉛系化合物)	2.5 ± 0.3 以下																																																
有機質系顔料 ^{※8}	0～2.1 ± 0.2																																																
添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤)	0～1.6 ± 0.2																																																
塩化ビニル樹脂	74.6 ± 7.5 以下																																																
可塑剤 ^{※6} ・減粘剤 (カルボン酸エステル系)	40.2 ± 4.0 以下																																																
(但し、減粘剤は、0～7.1 ± 0.7 の範囲とする)																																																	
無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※7}	14.9 ± 1.5 以上																																																
有機質系発泡剤 (アジカルボンアミド系、ポリスチレンポリブタジド)	0～3.3 ± 0.3																																																
有機質系安定剤 (亜鉛系化合物)	2.3 ± 0.2 以下																																																
有機質系顔料 ^{※8}	0～1.9 ± 0.2																																																
添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤)	0～1.4 ± 0.1																																																

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>[3] 裏打材^{※9}：(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 裏打紙：</p> <p>…厚さ$0.5_{\pm 0.05}$mm以下</p> <p>質量$150.0_{\pm 15.0}$g/m²以下(有機質量$65.0_{\pm 6.5}$g/m²以下)</p> <p>構成(g/m²)：1)又は1)と2)を組合せた仕様とする</p> <p>1) 有機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①有機繊維^{※10} …$65.0_{\pm 6.5}$以下 (但し、合成樹脂系繊維^{※11}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※11}$15.6_{\pm 1.56}$以下とし、かつ有機質量を$52.0_{\pm 5.2}$以下とする。)</p> <p>②合成樹脂^{※1} …$8.8_{\pm 0.88}$以下 有機繊維^{※10} …$46.0_{\pm 4.6}$以下 (但し、合成樹脂^{※1}を使用する場合、有機質量を$47.0_{\pm 4.7}$以下とする。有機繊維として合成樹脂系繊維^{※11}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※11}は$1.0_{\pm 0.1}$～$16.6_{\pm 1.66}$とする。)</p> <p>2) 無機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①無機質系充てん材^{※7} …$0\sim 120.0_{\pm 12.0}$ ②なし</p> <p>(2) 裏打紙：</p> <p>([2] 主素材が(2)又は(3)の場合に限る)</p> <p>…厚さ$0.5_{\pm 0.05}$mm以下</p> <p>質量$150.0_{\pm 15.0}$g/m²以下(有機質量$75.0_{\pm 7.5}$g/m²以下)</p> <p>構成(g/m²)：1)又は1)と2)を組合せた仕様とする</p> <p>1) 有機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①有機繊維^{※10} …$75.0_{\pm 7.5}$以下 (但し、合成樹脂系繊維^{※11}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※11}$18.0_{\pm 1.80}$以下とし、かつ有機質量を$60.0_{\pm 6.0}$以下とする。)</p> <p>②合成樹脂^{※1} …$10.1_{\pm 1.01}$以下 有機繊維^{※10} …$53.0_{\pm 5.3}$以下 (但し、合成樹脂^{※1}を使用する場合、有機質量を$54.0_{\pm 5.4}$以下とする。有機繊維として合成樹脂系繊維^{※11}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※11}は$1.0_{\pm 0.1}$～$19.2_{\pm 1.92}$とする。)</p> <p>2) 無機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①無機質系充てん材^{※7} …$0\sim 120.0_{\pm 12.0}$ ②なし</p>

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>(3) 裏打紙： ([2] 主素材が (3) の場合に限る) …厚さ 0.5 ± 0.05 mm 以下 質量 150.0 ± 15.0 g/m² 以下 (有機質量 85.0 ± 8.5 g/m² 以下) 構成 (g/m²) : 1) 又は 1) と 2) を組合せた仕様とする</p> <p>1) 有機質 : ①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <div style="margin-left: 20px;"> ①有機繊維^{※10} … 85.0 ± 8.5 以下 (但し、合成樹脂系繊維^{※11}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※11} 20.4 ± 2.04 以下とし、かつ有機質量を 68.0 ± 6.8 以下とする。) </div> <div style="margin-left: 20px;"> ②合成樹脂^{※1} … 11.6 ± 1.16 以下 有機繊維^{※10} … 61.0 ± 6.1 以下 (但し、合成樹脂^{※1}を使用する場合、有機質量を 62.0 ± 6.2 以下とする。有機繊維として合成樹脂系繊維^{※11}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合、合成樹脂系繊維^{※11}は $1.0 \pm 0.1 \sim 22.2 \pm 2.22$ とする。) </div> <p>2) 無機質 : ①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <div style="margin-left: 20px;"> ①無機質系充てん材^{※7} … $0 \sim 120.0 \pm 12.0$ ②なし </div> <p>※1: 合成樹脂は、エチン・酢酸ビニル系、酢酸ビニル系、ウレタン系、アルキシンラン加水分解縮合物系、塩化ビニル系、アクリル系、シリコン系、ポリエステル系、フッ素系のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※2: 無機質系添加剤は、シリカ、光触媒酸化チタン、無機系抗菌剤のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※3: 合成樹脂インキは、アクリル系、塩化ビニル系、ウレタン系、ニトロセルロース系、酢酸ビニル系、エチングリコールのいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※4: 質量及び組成は、加工時に可塑剤、減粘剤、発泡剤等が揮発等により減量するため、配合質量及び配合組成とする。</p> <p>※5: 有機質量は、加工時に可塑剤、減粘剤、発泡剤等が揮発等により減量するため、配合有機質量とし、配合組成中の有機質を組合せた配合量合計とする。</p> <p>※6: 可塑剤は、フタル酸系、テレフタル酸系、イソフタル酸系、アジピン酸系、ポリエステル系、DINCH系、エポキシ系、有機りん系、塩素化パラフィン系、トリメリット酸系のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※7: 無機質系充てん材、無機質系顔料は、酸化チタン、酸化鉄、酸化亜鉛、カーボンブラック、マイカ、炭酸カルシウム、タルク、水酸化アルミニウム、水酸化マグネシウム、三酸化アンチモン、亜鉛酸亜鉛、シリカ、金属粉 (アルミニウム)、鉱物粒及び鉱物粉のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※8: 有機質系顔料は、アゾ系顔料、フラジオン系顔料、縮合多環系顔料、合成樹脂^{※1}のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※9: 裏打材は、紙、無機質紙、不織布 (non woven paper) のいずれかとする。</p> <p>※10: 有機繊維は、パルプ、レーヨン、綿、麻、合成樹脂系繊維^{※11}のいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※11: 合成樹脂系繊維は、ナイロン、ビニロン、ビニリデン、ポリエステル、ポリ塩化ビニルのいずれか、又は組合せとする。</p>

項 目	仕 様
接着剤及びシーラー	<p>1)、2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) …質量$60_{\pm 6}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$60_{\pm 6}\text{g/m}^2$以下) 構成:以下の[1]又は[1]と[2]を組合せた仕様とする</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 4em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>[1] でん粉系接着剤 …質量$60_{\pm 6}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$60_{\pm 6}\text{g/m}^2$以下)</p> <p>組成 (質量%)</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>でん粉のり …… $80_{\pm 2}$以上</p> <p>補強剤^{※12} …… $20_{\pm 2}$以下 (又は補強剤なし)</p> </div> </div> </div> </div> <p>[2] シーラー：合成樹脂^{※13} …質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$以下)</p> <p>2) …質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$以下) 構成:以下の[1]又は[1]と[2]を組合せた仕様とする</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 4em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>[1] メチルセルロース系接着剤 …質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$40_{\pm 4}\text{g/m}^2$以下)</p> <p>組成 (質量%)</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 2em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>メチルセルロース …… $80_{\pm 2}$以上</p> <p>補強剤^{※12} …… $20_{\pm 2}$以下 (又は補強剤なし)</p> </div> </div> </div> </div> <p>[2] シーラー：合成樹脂^{※13} …質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$(固形量)以下(有機質量$10_{\pm 1}\text{g/m}^2$以下)</p> <p>※12：補強剤は、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※13：合成樹脂は、アクリル樹脂エマルジョン(アクリル酸エステル共重合体エマルジョン、メタクリル酸エステル共重合体エマルジョン)、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せた仕様、又はシーラーなしとする。</p>
基 材	<p>準不燃材料</p> <p>平成12年の建設省告示第1401号に例示された準不燃材料のうち、すでに化粧を施されたものを除くもの</p>

4. 構造説明図(寸法単位：mm)



※平成12年の建設省告示第1401号に例示された準不燃材料のうち、すでに化粧を施されたものを除くもの